



市民病院

八十ちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

少しでも呼吸が楽に生活できるように

こんにちは、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の教育課程を修了した石川太郎です。慢性呼吸器疾患看護の対象はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）やぜん息、肺炎などの病気です。COPDとは、たばこの煙が原因で肺の機能が低下し、慢性的にせきやたん、息切れのする病気です。まだまだCOPDは周知されていませんが、潜在的に約530万人が罹患していると言われています。酸素ポンペを引いている人を見かけたことはありませんか。COPDは重症になるにつれ、1日中酸素が必要になります。在宅で酸素ポンペを使用している人の半数がCOPDです。COPDのことを多くの人に知ってもらうために、これからも活動をしていきます。

現時点での活動は、病棟に入院している慢性呼吸器疾患の患者の皆さんを対象としています。息が切れやすい、息が吐きにくいというような症状を少しでも改善できるように関わっています。立ち上がる時や歩くとき、体を洗うときなどの日常生活の動作における呼吸法や、それぞれの生活状況に合わせたリハビリテーション、息苦しくなったときの対処方法を説明し、皆さんのセルフケア能力の向上に努めています。

慢性呼吸器疾患の皆さんは息苦しさを感しながら在宅で生活しています。生活が少しでも楽になるようにサポートしていきます。



碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

No.22 旭村の変遷

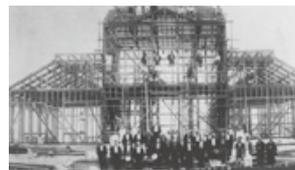
昭和23年（1948年）、新川町・大浜町・棚尾町・旭村の4か町村が合併して碧南市ができました。この3町1村のうち大変興味深い動きをした旭村についてご紹介します。

明治22年（1889年）の市制町村制施行により、前浜新田村・平七村・伏見屋外新田村・伏見屋新田村が合併し、志貴崎村ができました。しかし、その約2年後に、志貴崎村のなかから伏見屋新田村が分村し、伏見屋村となりました。詳細は不明ですが、合併で不利な事柄があったのかと思われます。

【旭村の変遷】

明治11年合併時の村名	明治22年合併	明治24年分村	明治39年合併	昭和23年合併
前浜新田村	志貴崎村	志貴崎村	旭村	碧南市
平七村				
伏見屋外新田村		伏見屋村		
伏見屋新田村				
鷺塚村	鷺塚村	鷺塚村		

明治39年（1906年）愛知県が新たに「新浜町」をつくろうとしたとき、志貴崎村・伏見屋村・鷺塚村は主に農業で発展しており、ほかの町村とは産業などの違いがあるということで、これに反対した3村は合併して旭村をつくりました。う余曲折を経てきた旭村は、碧南市ができる時に参加するかどうかで村内各字ごとに投票を行いました。結果は、賛成610票、反対458票となり、ほか3町と合併して碧南市に加わることとなりました。



△旭村役場上棟式（市所蔵）



△昭和5年（1930年）に完成した旭村役場（市所蔵）